

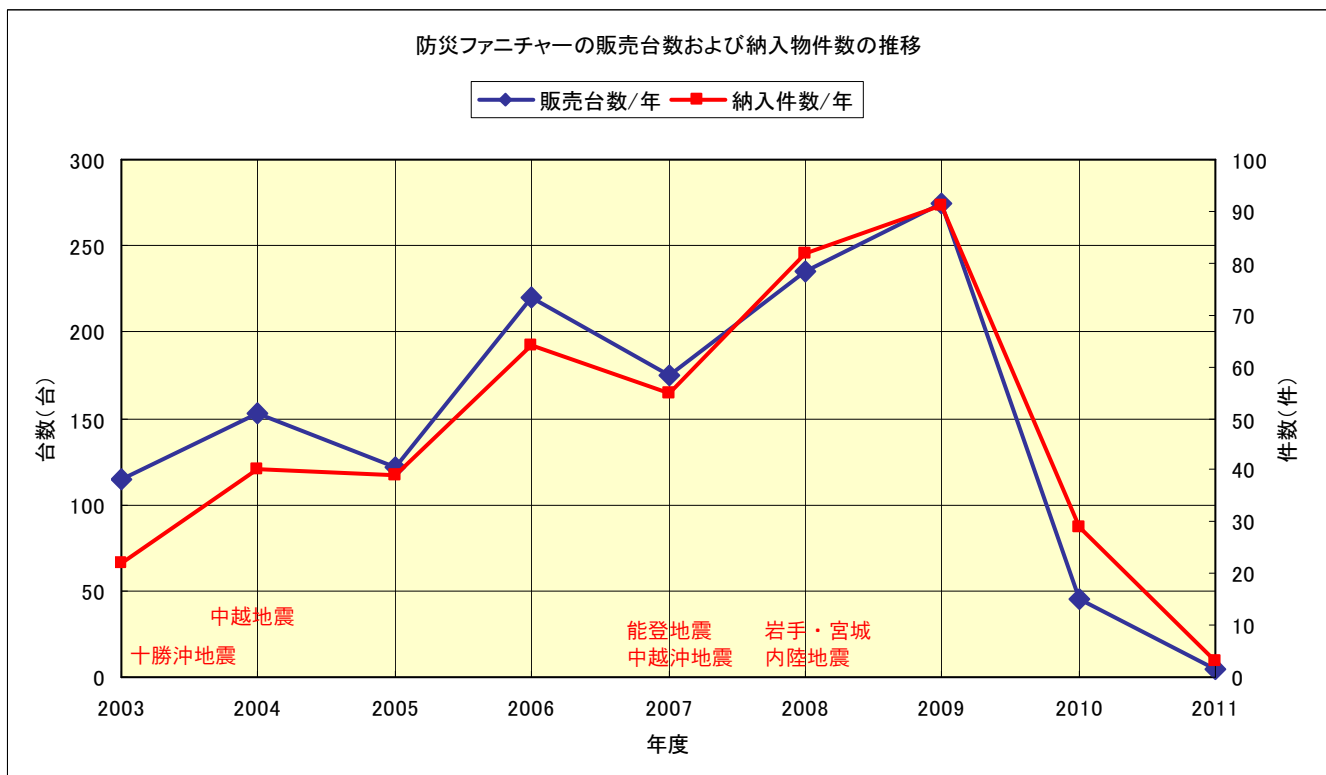
【参考資料】防災ファニチャーの歴史と販売数の推移

■コトブキ防災ファニチャーの歴史

1995年	阪神・淡路大震災発生。現地にてヒアリングを実施
1999年～	特注品としてレスキューセットを入れた収納ベンチやサインなどを納品
1999年	「防災公園 計画・設計ガイドライン」策定
2000年	防災ファニチャーを規格製品化、販売開始 規格品としてかまどベンチ、かまどスツール、収納ベンチ、防災シェルター、避難誘導・案内サイン、蓄光・ソーラー車止め、防災学習スツール。特注品としてマンホールトイレや収納縁台なども製作。
2003年	【納入】千葉県市川市大洲防災公園にかまどベンチ、かまどスツール、防災シェルターを納入
2007年	かまどベンチ、収納ベンチ新製品発売。マンホールトイレを規格製品化
2009年	トイレベンチ、トイレスツール、防災シェルター（収納縁台付）発売 【納入】東京臨海広域防災公園にかまどベンチ、収納ベンチ、収納縁台、防災パーゴラを納入
2011年	東日本大震災発生。現地にてヒアリングを実施 新製品発売 かまど縁台、かまどセット、収納縁台、立水栓、防災パーゴラ、防災テントセット、非常電源付ソーラー照明灯、ソーラー照明付車止め、注意喚起サイン

■防災ファニチャーの販売台数の推移

2009年まで台数、件数ともにほぼ増加傾向で、2010年には減少したものの、2011年3月の東日本大震災以降、問い合わせが増えているため今後再び増加傾向に転じると予想される。これまでは防災公園などが主な納入先であったが、問い合わせの傾向から、民間のマンションや学校などに設置するケースが増えると予想される。納入した地域としては、東京、大阪、名古屋といった都市部が圧倒的に多い。



※対象製品：かまどスツール、かまどベンチ、収納ベンチ、トイレスツール、トイレベンチ、マンホールトイレ、防災学習スツール

※年度：4月～翌年3月まで

※2011年度は2011年4～5月までの合計。